

かさねの色目の花あそび No.36

【色目】 蒼菊 <表：紅 裏：黄>



菊花の蕾の色を表した色目、つぼみぎく。紅菊に背景の黄菊をイメージしているとも、黄菊と葉を表している（えっ？）ともされる。私には、緑のガクに包まれた硬い紅菊の蕾が、次第に赤みを帯びてくるころのイメージがする。

花あそびは、2色のガーベラ。黄色いのは、黄色というよりオレンジといったほうが良さそうな強い色だ。ヒカゲノカズラを加えグリーンを添えたものも。



かさねの色目の花あそび No.37

【色目】 葛 <表：青黒気アリ 裏：淡青>



秋の七草の1つ、食用でもお馴染みの葛の茎・葉を表した色目。葉の裏は、白い毛を密生し白色を帯びる。だから葉の表裏の取り合わせでもあるようだ。他の植物に巻き付いて伸び広がる蔓草で、チョウに似た赤紫の小花が穂状に咲き上がる（藤を逆さまにしたような感じ）。

花あそびは、黄金ひばとゲーラックスとアイビー。実は、NO.20に掲載の【色目】 梶<表：萌黄 裏：濃萌黄>とほとんど同じ。



◀こちら「梶」。黄金ひばを「表：萌黄」に、深い緑の椿の葉を「裏：濃萌黄」として使用。

▶「葛」ではゲーラックスとアイビーを「表：青黒気アリ」に、黄金ひばは「裏：淡青」に使用。

